

条件付き集計にチャレンジ（２）

エクセルを使うと、合計や平均といった集計は、あっという間にできてしまいます。単純な集計に慣れてきたら、条件付き集計にチャレンジしてみましょう。

前回は～If 関数と～Ifs 関数を使いました。今回は、データベース関数（D～）を使ってみます。また、文字列の検索に便利な、「ワイルドカード」についても学習します。

4. データベース関数 D～

条件を書き込む範囲が必要ですが、さまざまな検索条件を設定できます。

- ・ DSum(データベース, 計算項目, 条件範囲)
- ・ DCount(データベース, 計算項目, 条件範囲)
- ・ DAverage(データベース, 計算項目, 条件範囲)

※DCount 関数は、数値データの個数を求めるときに使います。文字列データも含めて個数を知りたいときは、DCountA 関数を使います。

	A	B	C	D	E	F	G
1	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
2	川上 哲治	熊本県	6	81	27	38.0	114
3	柴田 勲	神奈川県	98	51	40	63.0	189
4	土井 正三	兵庫県	35	49	19	34.3	103
5	長嶋 茂雄	千葉県	88	85	39	70.7	212
6	王 貞治	東京都	56	26	11	31.0	93
7	末次 民夫	熊本県	97	48	18	54.3	163
8	高田 繁	大阪府	38	55	31	41.3	124
9	黒江 透修	鹿児島県	30	34	17	27.0	81
10	森 昌彦	岐阜県	13	79	14	35.3	106
11	堀内 恒夫	山梨県	18	58	52	42.7	128
12							
13							
14							
15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16		熊本県					>=150
17							
18							

①前回作成した表を、開いてください。そして、上図のようにタイトル（A1～G1セル）を、15行目にコピーしてください。

②16行目以下に、検索条件を書いていきます。

「熊本県出身で、合計が150点以上の人の数」を求めてみましょう。

=DCountA(A1:G11,A1,A15:G16)

または、

=DCount(A1:G11,G1,A15:G16)

計算項目は、タイトルのセル（A1やG1）でも、タイトル名（”氏名”や”合計”）でもOK。答えは、末次さん1名ですね。

Excel096

条件範囲を、複数行指定することもできます。

「熊本県か神奈川県出身で、合計が 150 点以上の人の数」の場合、条件範囲を以下のように入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16		熊本県					>=150
17		神奈川県					>=150
18							

=DCountA(A1:G11,A1,A15:G17)

条件範囲に注意してください。答えは、末次さん・柴田さんの 2 名となります。

問題 データベース関数を使って、次の答えを求めましょう。

- ①英語も数学も、80 点以上の人の数。
- ②英語か数学が、80 点以上の人の数。
- ③東京都か神奈川県出身で、英語が 60 点より高い人の数。
- ④英語が 80 点以上の人の、数学の合計点。
- ⑤英語も数学も 60 点以下の人の、合計の平均点。
- ⑥英語か数学が 50 点以上の人の、国語の平均点。

解答

①=DCountA(A1:G11,A1,A15:G16)
=1

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16			>=80	>=80			
17							

②=DCountA(A1:G11,A1,A15:G17)
=4

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16			>=80				
17				>=80			

③=DCountA(A1:G11,A1,A15:G17)
=1

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16		東京都	>60				
17		神奈川県	>60				

④=DSum(A1:G11,D1,A15:G16)
=184

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16			>=80				
17							

⑤=DAverage(A1:G11,G1,A15:G16)
=105.8

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16			<=60	<=60			
17							

⑥=DAverage(A1:G11,E1,A15:G17)
=29.0

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16			>=50				
17				>=50			

5. [発展学習] ワイルドカード

文字列の条件を設定するときに、使います。

どの条件付き集計関数（～If、～Ifs、D～）にも、使えます。

- ・「?」…任意の 1 文字を示します。
- ・「*」…任意の長さの文字列を示します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
2	川上 哲治	熊本県	6	81	27	38.0	114
3	柴田 勲	神奈川県	98	51	40	63.0	189
4	土井 正三	兵庫県	35	49	19	34.3	103
5	長嶋 茂雄	千葉県	88	85	39	70.7	212
6	王 貞治	東京都	56	26	11	31.0	93
7	末次 民夫	熊本県	97	48	18	54.3	163
8	高田 繁	大阪府	38	55	31	41.3	124
9	黒江 透修	鹿児島県	30	34	17	27.0	81
10	森 昌彦	岐阜県	13	79	14	35.3	106
11	堀内 恒夫	山梨県	18	58	52	42.7	128

「川」という字で始まる＝「川*」

文字数が 3 文字＝「???」

「田」という字が入っている＝「*田*」

最後が「県」＝「*県」

というように、指定します。

たとえば、「出身が都道府ではなく県で、英語が 50 点以上の人の数」は、

=CountIfs(B2:B11,"*県",C2:C11,">=50")

または、データベース関数を使って、

15	氏名	出身	英語	数学	国語	平均	合計
16		*県	>=50				

=DCountA(A1:G11,A1,A15:G16)

となります。（答えは、3 人）

問題 ワイルドカードを使って、次の答えを求めましょう。～If、～Ifs、D～のどの関数を使ってもかまいません。

- ①氏名に「田」の字が入っている人の数。
- ②名前が「夫」で終わる人の数。
- ③名字が 1 文字の人の、英語の平均点。

解答

- ①2 ②2 ③34.5